

国際教養学部



こんな学びを志向する人に

- ✿ 世界の人々の相互理解に貢献したい
- ✿ 人間の心のメカニズム、
発達や成長について学びたい
- ✿ 複雑化する現代社会が抱える
問題の解決に貢献したい
- ✿ まちづくり、都市計画、
都市デザインに関心がある
- ✿ 外国語をその背景となる文化や
歴史を理解しながら学びたい
- ✿ 都市・地域の課題解決に貢献したい

国際教養学部の特色

国際教養学部は、豊かな教養と高い思考力、さらに、高い外国語運用能力と課題解決に向けた実践的な力を養う教育を展開します。それにより、多文化共生社会の実現や世界規模の課題、現代のさまざまな都市における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。教養教育と専門教育の融合をベースとしながら、社会・文化・人間に関わる多様な学問群の中から、自らの関心に沿って「主体的な学び」を進め、それぞれの分野における「専門的な知見」を修得します。また、幅広いアプローチを学ぶ事で「多角的視点」に立ち、ものごとの本質や根本を捉える豊かな教養と高い思考力を養います。加えて、このような教養と思考力に裏打ちされた、現代の都市・地域社会が直面する現実的な課題を解決するための実践力を持つ人材を育成していきます。

1 特色 『専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得』

グローバル化が進み、複雑化する社会で生きていくために必要な事は何でしょうか。それは、ものごとの本質を見極められる深い思考力と未知の事象に出会った時に対応できる柔軟な発想力です。国際教養学部では1年生全員が国際社会論、国際文化論、人間科学論、都市政策・まちづくり論という学問入門科目を受講し学びのスタートを切ります。2年次からは、社会・文化・人間の諸問題を多角的に捉える教養学系と都市・地域の課題に実践力で挑む都市学系の2学系、4つのクラスター（科目群）の中から自ら選択した分野の勉強を深めます。さらに関連するクラスターの学問領域を融合的に学ぶ事によって、深い思考力と柔軟な発想力を身に付けていきます。

2 特色 『理論に裏打ちされた実践力を鍛える』

大学での学びの大きな特徴は、専門性を持つ事、そしてその専門性を武器に理論的な思考ができるようになる事です。さらには、身に付けた力を社会に還元する事が大学を卒業した人の使命といえるでしょう。国際教養学部の学びの中には、社会に還元するための実践力を鍛えるプログラムが用意されています。海外、国内で行う実習プログラムはその一例です。国連やJICA、海外、国内の大学、自治体等と連携したフィールドワークや共同研究で学びのカタチを変えていく体験をします。講義で学んだ事を現実の課題に当てはめて思考したり、国内外の同世代の学生とディスカッションしたりという体験を通して、理論と実践の両面から学びを深めていきます。

3 特色 『グローバル時代の未来を切り拓くコミュニケーション能力』

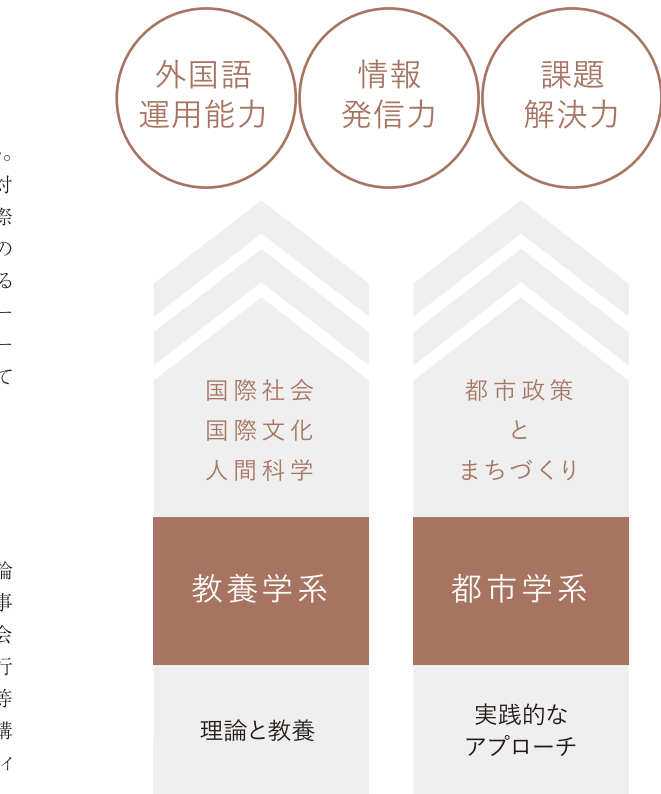
より良い学びのためには、学んだ事を形にして人に伝える事、相互に理解しあう事が必要です。国際教養学部の学びにはコミュニケーション能力を鍛える仕掛けがちりばめられています。少人数で行われるゼミでの発表や討論、講義中に課されるプレゼンテーション等、発表や討論の機会がたくさんあります。経験を積む事によって、コミュニケーション能力を磨いていきます。高度な英語運用能力の修得に加えて、もうひとつの外国語を学ぶ事にも力を入れており、国際教養学部教養学系では英語以外の言語を学ぶ「初習外国語」を必修としています。2年次前期後半から夏休みにかけての期間に海外体験をする事を強く推奨しています。以心伝心ではなく、ことばとことばの積み重ねによって相互理解をする体験がグローバル時代の未来を切り開いていく力へとつながります。

Message from the Dean

深い専門性、幅広い教養、そして高い外国語運用能力に基づいて、主体的に課題を解決できる実行力のある人間を育てる場。

国際教養学部長
鈴木 伸治 Nobuharu Suzuki

国際社会では多角的な視野に立って課題を発見し、確かな思考力と高い対話能力で課題を解決できる人材が求められています。そこで必要とされるのは、外国語能力を含むコミュニケーション能力、多様な社会・文化的背景の理解、自文化の相対化、根拠に基づいて主体的に行動できる能力です。国際教養学部では、選択したクラスターで体系的に専門の軸を固めると共に、隣接する学問領域との融合をはかり、専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得を目指しま



す。ゼミの活動では、他者との協働作業を通して理論に裏打ちされた思考を応用できる実践力を鍛えます。さらに、海外留学や国内外におけるフィールドワーク、インターンシップ等、さまざまな体験を積み事で相互理解に基づく日本語および外国語でのコミュニケーション能力に磨きをかけます。共に作り、共に育つ場としての国際教養学部での学びを通して、あらゆる社会、文化、思考を認め合い生かす事ができる、グローバル時代の未来を切り開いていく国際人を目指しましょう。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際教養学部の入門科目を学び、基礎を固める	専門性を深めるため教養学系、都市学系のどちらかを選択し、専門性を確立するために4つのクラスター（科目群）からひとつを選択する	海外留学、インターンシップ、英語で行われる専門科目等を履修し複文化・複言語を体験。専門を深めると同時に、学問間の融合を図る	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
				卒論演習
		プレゼミ	演習	大学院科目の早期履修
教養学系		地域調査実習・海外調査実習・海外文化実習 インターンシップ実習		
	初習外国語			
都市学系		都市課題実習I	都市課題実習II	
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ/基礎ゼミ			
	Practical English		Advanced Practical English	
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

専門性を深める学系とクラスター

国際教養学部は、「教養学系」と「都市学系」という二つの学系を持ち、少人数で行われるゼミを中心にそれぞれの専門性を深めていきます。その専門性を確立するために4つのクラスター（科目群）を設けています。学生はその中から必ずひとつのクラスターを選択し、集中的に学ぶ「専門の軸」を持ちながら、関連する学問領域の科目まで融合的に学修する事ができます。＜国際文化＞＜人間科学＞＜国際社会＞＜都市政策とまちづくり＞の4つのクラスターを専門の軸として、下記の専門科目における「文化」「人間」「社会」「都市」のカテゴリーから関連する科目を履修していきます。

国際文化(教養学系)	人間科学(教養学系)	国際社会(教養学系)	都市政策とまちづくり(都市学系)
文学、言語学、歴史学等	哲学、身体科学、心理学等	社会学、国際関係学等	地域科学、都市計画学等

国際教養学部専門科目一覧

文化			人間		社会			都市	
日本文化史A 日本文化史B 中国文化論A 中国文化論B 東南アジア史 アメリカ文学A アメリカ文学B イギリス文化論 フランス語文学 ドイツ文化論A ドイツ文化論B 言語学 アングロ・アメリカ文芸批評論 イギリス文学A イギリス文学B フランス文化論 応用言語論 日本語文学 日本思想史 日本古典文化論 イスラーム地域史A イスラーム地域史B	アメリカ文化論 表象文化論 British Literature in English 欧米の歴史 都市文化論 歴史学 現代美術論 コミュニケーション論 フランス語文学 ドイツ文化論A ドイツ文化論B 言語学 アングロ・アメリカ文芸批評論 イギリス文学A イギリス文学B フランス文化論 応用言語論 日本語文学 日本思想史 日本古典文化論 イスラーム地域史A イスラーム地域史B	Explication of American Literary Text B 英米言語文化A 英米言語文化B 翻訳文化論A 翻訳文化論B 西洋古典学A 西洋古典学B 演劇文化論 音楽文化論 映像文化論 ヨーロッパ史 社会言語論A 社会言語論B 理論言語学 日本メディア史 東アジア史B 中国古典文化 中東社会・文化論 アメリカ史 American Literature in English 英語構文研究 メディア英語 ロシア・東欧の文化	哲学的人間論A 哲学的人間論B 現代倫理学 臨床心理学A 臨床心理学B 臨床心理学C 発達心理学 現代思想 文化人類学 心理学研究法 身体運動科学 現代教育論	社会福祉論 宗教論 東洋思想 認知心理学 社会心理学 運動生理学 オルタナティブ教育論 インクルージョン論 スポーツ文化論 世界の福祉 高齢社会論	現代社会論 社会学 エスニシティ論 アジア地域論 国際協力論 国際開発論 国際法I 国際法II メディア社会論 社会理論 東南アジア研究 東アジア社会経済論 国際移住論A 国際移住論B 海洋法 多文化社会論	男女共同参画社会論 南アジア研究 中国研究 ヨーロッパ社会論 アメリカ社会論 芸術社会論 市民社会論 経済地理学 グローバル公共政策論 平和構築論 家族社会学 ジェンダー論 文化社会学A 文化社会学B 韓国朝鮮研究 地域開発論 国際経済社会論	日本文論 農村振興論 国際機構論 Global Issues 芸術社会論 メディア・リテラシー論 ヨーロッパ統合論 ラテンアメリカ研究 アフリカ社会論 Japan and International Cooperation Learning Global Cooperation in English International Cooperation in Urban Development 国際人権法	都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 行政法I 行政法II 住環境計画論 地球環境政策論 地方自治論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論 都市参加・協働論 都市財政論 資源循環論 都市防災計画論	不動産マネジメント論 CSR実践論 非営利組織論 観光政策論比較地方自治 横浜の都市づくり 都市経済学 労働生活政策論 港湾都市論 環境まちづくり論 文化政策論 地域保健医療福祉論 労働経済学 環境経済学 資源経済学 環境ISO論 品質ISO論 日本の都市計画と都市開発
外国語・実習・専門ゼミ									
専門外国語A(フランス語) 専門外国語B(フランス語)	専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語)	専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語)	専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語)	専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語)	アジア諸言語I(タイ語) アジア諸言語II(タイ語)	アジア諸言語I(ベトナム語) アジア諸言語II(ベトナム語)			
地域調査実習 都市課題実習I	海外文化実習 都市課題実習II	海外調査実習 地域課題実習	プレゼミA 海外都市課題実習	プレゼミB インターンシップ実習	演習I キャンパス起業体験	演習II 演習III	卒論演習I	卒論演習II	卒業論文

SDGsへの取り組み



SDGsの視点から都市課題の解決へ～都市課題演習I～

都市学系に配属された2年生が一番初めに行う実習科目です。横浜市がSDGs未来都市となっている事から、SDGsの視点から都市の課題を発見し、その解決策までを考えていく実習です。実習では、学外の専門家の講演をはじめ、マッピングや資料収集、アンケート調査等の具体的な調査方法を学んでいきます。また、グループワークで他の学生との議論を重ね、協同して物事を進めていくコミュニケーション能力も養います。それは集団の中で自分自身の考えを立案し、主張する学生個々の力の造成にも繋がります。学生達は、観光、防災、買物というサブテーマに分かれ、複数のグループで調査と議論を行いました。最終発表では「耳で歩くとみらい」や「空き家のフェーズフリーな防災基地活用」等の提案がなされ、学外の行政職員や専門家から表彰をうけました。



国際人を育成

英語および英語関連科目の学修を通して、高い思考力および高い外国語の運用能力と課題解決に向けた実践力が身に付きます。

国際英語プログラム

【必要単位数】

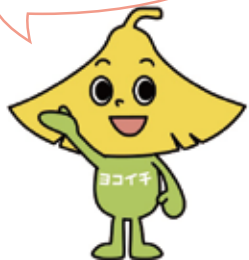
・教員免許（英語）の取得予定がない場合

「英語サブクラスター」および「英語拡張サブクラスター」から40単位以上

・教員免許（英語）の取得を予定する場合

「英語サブクラスター」から30単位以上、「英語拡張サブクラスター」から10単位以上

要件を満たした学生には
『国際英語プログラム修了証』が
発行されます！



「英語サブクラスター」

〔英語学・英文学に関連する科目〕
ex. 英語学入門、アメリカ文学、イギリス文化論、
コミュニケーション論、翻訳文化論、
メディア英語 etc.

英語拡張サブクラスター

〔英語サブクラスターの周辺分野を学修する科目〕
ex. 多文化交流ゼミ、英米文化理解、
エスニシティ論、国際法、イスラーム地域史、
欧米の歴史 etc.

教員免許状の取得

教員免許状の取得

所定の科目修得、教育実習・介護等体験、さらに「国際英語プログラム」を修了することで、英語の教員免許状（中学校教諭・高等学校教諭）が取得できます。

本学における最低修得単位数		
免許状の種類	教科専門科目（英語） ※学部選択科目・国際英語プログラム科目を一部含む	教職専門科目 ※卒業単位に含まれません
中学校教諭 第一種	24単位	36単位
高等学校教諭 第一種	32単位	28単位

進路状況（国際総合科学部）

2021年度 卒業生（2022年5月1日現在）
※国際総合科学部は、2019年に国際教養学部、国際商学部、理学部に再編。

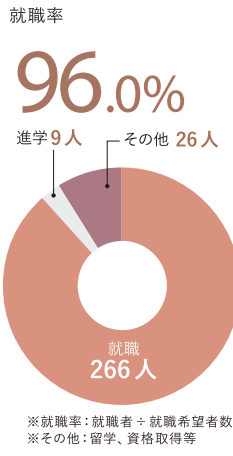
■製造業

森永乳業株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社キーンエンス
カルビー株式会社
日本電気株式会社（NEC）
いすゞ自動車株式会社
スズキ株式会社
横浜ゴム株式会社
富士通株式会社
株式会社ブルボン
株式会社ボーラ
三井化学株式会社
株式会社ファンケル
レナード株式会社
株式会社資生堂
■金融・保険業
株式会社横浜銀行
かながわ信用金庫
一般社団法人全国地方銀行協会
東京海上日動火災保険株式会社
アフラック生命保険株式会社
■建設・不動産業
東建コーポレーション株式会社
三菱ケミカルエンジニアリング株式会社

JFEエンジニアリング株式会社
株式会社長谷工コーポレーション
大和ハウス工業株式会社
東急リアルティ株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
独立行政法人都市再生機構
■広告・コンサルティング・専門サービス業
アデコ株式会社
Retty株式会社
アクセンチュア株式会社
株式会社マナビ
独立行政法人日本貿易振興機構
アビームコンサルティング株式会社
ビーコムコミュニケーションズ株式会社
■公務員・教員・特殊法人
神奈川県教育委員会
国土交通省
東京労働局
神奈川県警察
川崎市役所
横浜市役所
千葉県教育庁
文部科学省
平塚市役所
東京都特別区

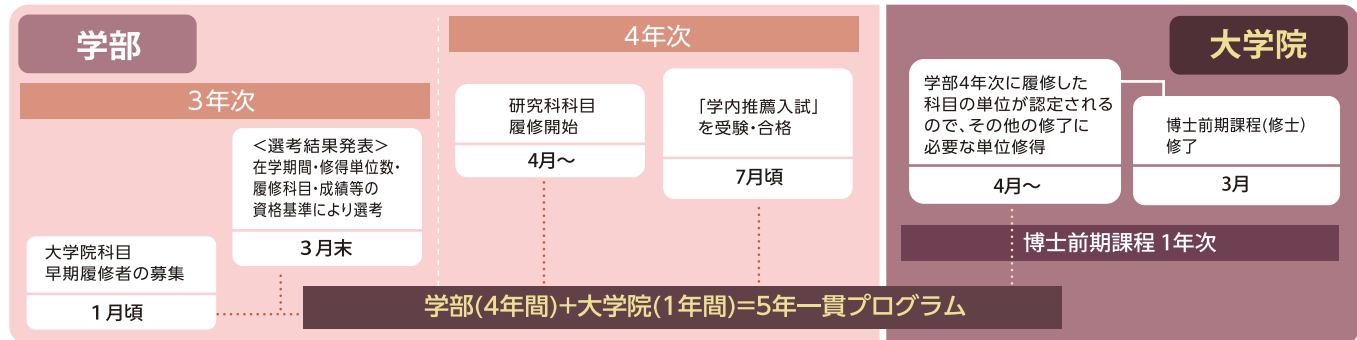
北海道庁
総務省
横浜市教育局
■商社・卸売・小売業
株式会社三栄コーポレーション
株式会社マクニカ
株式会社TOKAIホールディングス
日産トレーディング株式会社
株式会社ピーシーデポコーポレーション
カネヨウ株式会社
阪和興業株式会社
シナネンホールディングス株式会社
株式会社創健社
株式会社ゾフ
株式会社赤ちゃん本舗
ブックオフグループホールディングス株式会社
東京ヤクルト販売株式会社
■情報通信業・マスコミ
株式会社DNP情報システム
楽天株式会社
富士ソフト株式会社
楽天株式会社
一般社団法人共同通信社
東日本電信電話株式会社（NTT東日本）
株式会社ゼンリン

株式会社DTS
■その他
公立大学法人横浜市立大学
株式会社星野リゾート
株式会社帝国ホテル
株式会社トライグループ
アパホテル株式会社
独立行政法人国立病院機構
株式会社 共立メンテナンス
凸版印刷株式会社
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）
TBCグループ株式会社
株式会社バンナ
■主な進学先（大学院）
横浜市立大学大学院
東京大学大学院
東京学芸大学大学院
他



5年一貫プログラム

優秀な学生が学部4年次から大学院科目を履修することにより、大学院に進学した場合、通常は2年間の在籍が必要なところ、1年間で修了（修士の学位を取得）できる制度です。



都市社会文化研究科

都市社会文化専攻 大学院

博士前期課程 博士後期課程

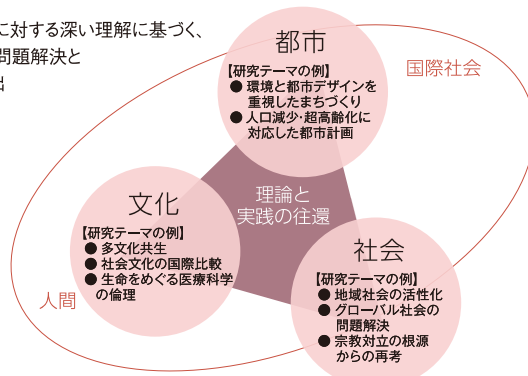
都市・社会・文化を総合的に学び、SDGsを強化した教育・研究・実践

私たちの暮らしに身近なテーマをはじめ、現代社会に迫るさまざまな課題を総合的に捉え探究する力、課題の解決を実践する力を身に付けます。大学が立地する横浜を基盤とした“ローカルな視点”、そして対極にあるかのように見える“グローバルな視点”、さらに人文社会科学や自然科学等の多分野の領域を横断する「知」を獲得しながら、現今の世界や社会が当面する課題に向き合います。そして、環境問題やジェンダー等、多様な視点から、持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）を学ぶ事を強化し、そのためのプログラムも用意しています。また、本学卒業後プラス1年で大学院を修了する事が可能です。国際的な視野を持ち、都市を学ぶにふさわしい、みなとみらいのサテライトキャンパスでの講義や近辺地域のまちあるきや現地見学は都市を学び、考え、実践する問題意識を高める事につながります。



研究科の理念

人間や国際社会に対する深い理解に基づき、現代都市社会の問題解決と新たな理念の創出



研究の特色

様々な社会問題・研究課題に対して、学際的なアプローチによって取り組んでいます。

研究 テーマの例

- ・環境と都市デザインを重視したまちづくり
- ・人口減少・超高齢化に対応した都市計画
- ・地域社会の活性化
- ・グローバル社会の問題解決
- ・宗教対立の根源からの再考
- ・多文化共生
- ・社会文化の国際比較
- ・生命をめぐる医療科学の倫理

修士論文テーマ例 2021年度修了者

- 1910年代から20年代における横浜市内社会事業の展開過程について
ー大岡川周辺地域を中心としてー
- 明示的に示される「あなた」の使用機能について
ーテレビドラマにおける男女会話の考察から日本語教育への示唆ー
- QRコード決済導入意識を踏まえた観光事業者の日程比較
- NPOの企業との協働戦略
- 日本語非母語話者の語りにみる日本社会におけるポジショニング：言語能力に対する「ほめ」に着目して
- 中国における中小企業と非営利組織の連携が地域課題の解決に及ぼす効果についての研究
ー貧困地域の中退問題の視点からアプローチー
- 鎌倉におけるオーバーツーリズムとコミュニティ内反応の差異
ー住民の外国人観光客受容と観光振興への支持からオーバーツーリズムを考えるー
- 日本の高校におけるムスリム家庭の生徒への理解と教育的課題
宗教的配慮を要する生徒との共生
- 移民家族が「再結合」とはなにか？
在日中国系ニューカマー家族のライフストーリーから考える

GO GLOBAL. Start in YOKOHAMA.

ヨコハマから世界へ

YCUではさまざまな、海外留学・海外研修プログラムが用意され、提携ネットワークが全世界に広がっています。



交換留学プログラム

半年～1年間、YCUが提携した海外協定校に留学し、専門分野を学習します。専門性だけでなく、異なる文化での生活で、多様な価値観や柔軟なコミュニケーション能力を身に付けることができます。また、交換留学は協定を結んだ大学への留学なので留学先の学費が免除され、留学先で取得した単位の認定といった、留学しても4年で卒業可能な仕組みがあるなど、多くのメリットがあります。



世界中に広がる交換留学先

YCUでは、現在38の海外大学と交換留学協定を締結しています。

多様な国・大学の中から、自身の興味や専攻に合わせて留学先を選択できます。

学ぶだけでなく、その土地で暮らすという貴重な経験ができるのも交換留学の大きな魅力です。



こちらの写真は、2021年秋に渡航した本学の交換留学生在が撮影しました。交換留学生による留学先紹介の一部を掲載しています。



主な交換留学先

Americas (10校)

- サザン・メイン大学 (アメリカ合衆国／英語)
- メモリアル大学 (カナダ／英語)
- アメリカス・プエブラ大学 (メキシコ／英語)

Europe (17校)

- ベネチア大学 (イタリア／英語)
- リヨン第3大学 (フランス／フランス語)
- フライブルク大学 (ドイツ／英語)

Asia (11校)

- 上海師範大学 (中国／中国語)
- 国立台湾科技大学 (台湾／英語)
- 仁川大学校 (韓国／韓国語)

上記以外にもたくさんの留学先があります。詳しくはグローバル推進室にお問い合わせください。

第2クォータープログラム

必修科目が配置されない2年次前期の後半(第2クォーター)の期間を利用して留学に挑戦できます。多種多様な渡航先から選択でき、短期間の渡航はもちろん、夏休みと組み合わせて長めのプログラムに参加することも可能です。



夏休みより長い期間、海外渡航での学びができます。

2021年度の募集実績を基にした内容です。次年度以降、プログラム内容は変更となる場合があります。

第2クォーター渡航プログラムのメリット

- * 夏休みより長い期間で海外渡航が可能!
- * 日本人が少ない時期に海外渡航できる!
- * 豊富な渡航先のプログラム(学部授業、サマースクール、語学)から自分にあったものを選択することが可能!
- * 夏休みや春休みの時期に比べてフライトが安価なケースが多い!

対 象 国際教養学部・国際商学部・理学部・DS学部学生(2022年度)

実施時期 2年次の6月～9月

渡 航 先 (2022年度募集実績)

ビクトリア大学(カナダ)
チェンマイ大学(タイ)
ド・モントフォート大学(英国)
サンディエゴ州立大学(米国)
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校(アメリカ)
国立政治大学(台湾)
延世大学校(韓国)

※その他英語以外の外国語(フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語)の習得を目指す人向けのコースもあります。

経済的支援を受けることが可能です。

- 大学からの補助金
- 後援会からの助成金

※費用面のサポートおよび奨学金の利用は選抜のうえ決定する場合があります。

単位認定可能!

※プログラムにより対象科目や必要条件が異なります。



第2クォータープログラム 海外インターンシップ

アメリカ、中国、東南アジアなど、海外の企業で実際に就業体験ができる、YCU独自のプログラムです。2年生の第2クォーターという大学生活の早い段階から海外で働く経験を積むことで、国内外問わず広いフィールドで活躍するために必要な国際感覚やリーダーシップ、語学力などを身に付けることができます。将来、海外へ積極的なビジネス展開を行うグローバル企業で活躍したいと考える方におすすめのプログラムです。実習形式(オンライン/渡航)は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、実習先企業との調整のうえ決定されます。

※海外インターンシップは2年生の第2クォーター以外の期間(8～9月、2～3月)にも参加できます。
※詳しい内容については、グローバル推進室 またはキャリア支援センターにお問い合わせください。



夏季・春季オンライン短期留学プログラム

実際の渡航が難しい情勢であっても、日本にしながら比較的リーズナブルに国際体験ができるオンライン留学。YCUでも、世界の大学が提供するプログラムから自分の興味に合ったものを選んで参加できます。*下記のプログラムは過年度実績に基づくプログラム例です。

チェンマイ大学 春季オンライン短期留学

本学の交換留学先の一つであるタイのチェンマイ大学のオンラインプログラムです。英語でSDGsなどのトピックを学びます。オプションとして現地学生とディスカッションをするセッションも体験できます。

ウィーン大学 春のオンラインドイツ語講座

本学の交換留学先の一つであるオーストリアのウィーン大学のオンラインプログラムです。初級から中上級までのレベル別に分かれて、ドイツ語の四技能を学習できます。





秋田県立秋田南高等学校卒
横浜市立大学
国際総合科学部卒
大学院 都市社会文化研究科
都市社会文化専攻
博士前期課程 1年

大関 羅捺さん

横浜市立大学国際教養学部を選んだ理由は？

まちづくりや都市計画などの都市に関する勉強が、座学だけでなく実習や実践を通して学ぶことができるからです。また、自分が一番興味のある分野だけでなく、自分にとって二番目に気になること・分野の授業も取ることができるので、多視点から研究を深めることができます。

大学院進学を決めた時期・理由を教えてください。

3年生前期に大学院進学をしよう決めました。学部だけの勉強や実習だけでは社会に出る自信がなかったこともありまして、この環境でもっと学び、実践力をつけたいと思いました。

<学部 4 年間+大学院前期課程の学びの流れ>

1 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1	情報コミュニケーション入門 a	教養ゼミ			
2					
3	社会学入門 b	総合講義 (まちづくり学入門)			法学入門 a
4	行列化ベクトル c	社会統計学 I c	総合講義 (横浜から世界へ)		経営学入門 I c
5	総合講義 (現代社会とジェンダー)				

1 年生では必修科目を中心に、まずは興味のある科目をひたすら受講しました。文系でしたが、文理関係なく自分が興味のある授業を取ることができるのが魅力でした。授業終わりは部活に行ったりバイトをしたり、毎日が充実していたと思います。



ハンドボール部で 1 年生の時に OBOG 会を出し物しました。ハンド部に入ったら 4 年間ハンド部の友人と一緒に居られなくなるくらい楽しかったです。

2 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1		都市計画論 / 市民まちづくり論	都市防災計画論		
2	都市解析				都市財政論
3	地方自治論	総合講義 (まちづくり学入門)	マーケティング論 I a		Advanced Practical English I g
4	Japanese Literature in English A	Explication of American Literary Text A			
5			演習 I		

2 年生になると専門的な授業が増えてきました。都市学系の授業をとる顔ぶれは大体固定されるのでみんな最低限顔見知りにはなっていたんじゃないかなと思います。私は高校の時は英語科だったので、もう一度英語関連の授業を取りたいと思い履修していました。2 年生では部活を 2 つ入りながらバイトをしていて毎日何かしらある日々でしたが、すごく楽しかったです。



コロナ禍以前はハンド部で旅行にも行っていました。ハンド部以外の友人とも、1 人でも、とにかく旅行に行っていた大学生活だったと思います。

3 年生 2021 年度 前期時間割

	月	火	水	木	金
1					
2	韓国・朝鮮語教養基礎 II (オンライン)			地域プランニング論 (オンライン)	
3		環境計画論 (オンライン)	地域情報化とまちづくり (オンライン)	都市と農 (オンライン)	
4		まちづくり実習 II (オンライン)	演習 II (オンライン)		
5					

初めてのオンライン授業でとても戸惑っていましたが、オンラインで通学時間がなくなったからこそ、次の授業の準備ができたりして、メリットも見えてきていました。実習はオンラインだと議論がしにくいのですが大変だったのが印象的でした。

大学院での授業 前期時間割

	月	火	水	木	金
1					
2					
3		都市・環境政策論特講 I			総合研究科目 1 / 3
4					総合研究科目 1 / 3
5					
6		まちづくり論特講 5	演習		
7					

学部からの研究を引き続き行い、発展させていこうと思っています。また、2 年後期から取り組んでいる空き家改修を通じた地域交流拠点づくりに取り組んでいます。

4 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1					
2			※都市・環境政策論特講 3 (オンライン)		※総合研究科目 2 (オンライン)
3			卒論演習 I (オンライン)		
4					
5					
6			※まちづくり論特講 4 (オンライン)		
7			※演習 (オンライン)		

大学院の授業を取りながら卒論を書かなければならないのは、大変かなと思っていましたが、実際にはそうではなかったと思います。むしろ大学院の授業は学部の授業よりも人数が少ないので、質が高く、卒論につながるような授業だったので早期履修してよかったと思っています。

卒論テーマ

大学生が運営する地域交流拠点の組織形態と地域コミュニティに関する研究



横浜市立大学国際教養学部を選んだ理由は？

1 つの学問を中心に学ぶのではなく、学際的に学べる環境が整っているため YCU を選びました。本学部の魅力は、学問と自身のパッションのミスマッチを多少は回避ができる点だと思います。大学出願時に専門を決めるのではなく、入学後にある程度の教養を養ってから「ゼミ選択」という形で専門を決められるからです。

<学部 4 年間の学びの流れ>

1 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1	ドイツ語基礎教養 I		ドイツ語基礎教養 I	教養ゼミ	ドイツ語基礎教養 I
2			情報コミュニケーション入門	教養ゼミ	
3	APE I			国際文化論	日本国憲法 a
4	社会学入門 b	心を科学する (理：心理学入門)	APE I	人間科学論	総合講義 (物質と生命)
5	日本語 II (ボランティア)	Topics in modern psychopathology			総合講義 (生命科学と環境)

基本的に必修科目を中心に履修することを意識しました。私の場合は心理学と社会学を横断して学習したかったので、社会学入門」と心を科学する」を受講しました。また、ボランティア支援室を通して日本語の講義を受講する機会もありました。ボランティアに参加しました。ちなみに、1 年生の海外留学生たちを補佐するボランティアに参加しました。ちなみに、1 年生の海外留学生たちを補佐するボランティアに参加しました。ちなみに、1 年生の海外留学生たちを補佐するボランティアに参加しました。

2 年生 後期時間割

	月	火	水	木	金
1	ドイツ語教養実践 (対面)		ドイツ語教養実践 (対面)		ドイツ語教養実践 (対面)
2		演習 I (対面)		世界の福祉 (オンデマンド)	
3	平和構築論 (オンライン)	不動産マネジメント論 (オンライン)		芸術社会論 (オンライン)	経済地理学 (オンライン)
4			文化人類学 (オンライン)		高齢社会論 (オンライン)
5			メディアリテラシー論 (オンライン)	現代思想 (オンライン/オンデマンド)	

2 年次からゼミ配属され、いよいよ専門科目を受講していきます。しかし「専門」とはいえ、学習する分野が縛られるわけではありません。上の後期の時間割表をご覧ください。心理学の講義がゼミ以外一切ありません。そうはいつつ、しっかり他の学問領域を心理学と関係させて学習してきました。例えば、「平和構築論」では紛争解決について社会学や政治学の視点で議論をする人が多い中、私はお構いなく臨床心理学の視点を持ち出して考察しました。これが本学部の良いところだと思っております、その私の振る舞いに対して違和感を抱く学生はいないのです (多分)。学際的に学ぶ意識が学生間で根付いているからこそかもしれません。



2020 年 3 月 ロシア・ウラジミール
新型コロナウイルスで世界が混乱し始める直前に 1 週間観光してきました。実はこれ、海の上です。

3 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1	社会福祉論 (オンライン)				
2	臨床心理学 B (オンライン)	ジェンダー論 (オンライン)	現代社会論 (オンライン)	現代社会論 (オンライン)	
3		演習 II (対面)	発達心理学 (オンライン)	都市と暮らし (オンデマンド)	
4		社会理論 (オンデマンド)	発達心理学 (オンライン)	都市と暮らし (オンデマンド)	
5	哲学的人間論 B (オンライン)				哲学的人間論 B (オンライン)

3 年次は、いよいよ卒業までに必要な残りの科目を意識しながら履修していきます。私は心理学ゼミ所属のため、人間科学系の単位を一定数修めなければいけません。しかし、1・2 年次にしっかり単位を取得していた為、3 年次は根拠して講義を履修する必要はありませんでした。そのため、3 年次は学外での自主映画制作サークルの活動や、神奈川県警察によるボランティア活動への参加などを精力的に取り組むことができました。

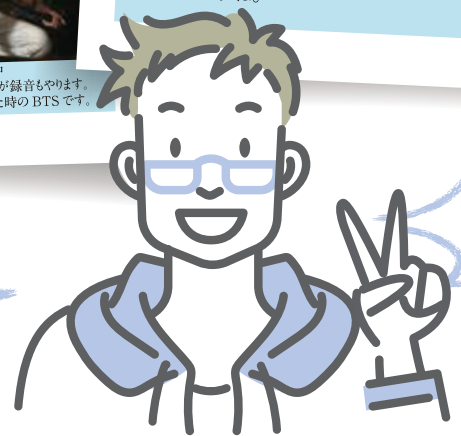


2021 年 9 月 自主映画制作中
私、監督・脚本担当なのですが録音もやります。海外の映画祭に向けて撮影した時の BTS です。

4 年生 前期時間割

	月	火	水	木	金
1					
2			メディア社会論	メディア社会論	
3			文化社会学 A		
4			卒論演習 I		
5					

さて、4 年次の時間割をご覧ください。1～3 年生の履修を頑張ると最終的にこのような状況を作れます。こうして空きコマを作ることで就職活動や大学院試験に集中することができます。さらに、卒業研究についてもしっかりと進める必要はありません。暇そうと意外とやらなければならないことは多いです。こうした中で、私は独りで悶々と考え込む癖があるので、なるべく大学の友人や家族、担当教員と話すことを意識しています。4 年生になったからこそ、親密な人間関係の中で気が滅入らないよう自身の心をケアする。それが一番必要な時期かもしれないですね。



卒論テーマ

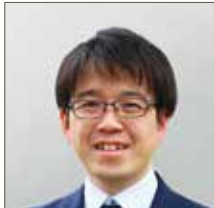
共感性について研究する予定。

今後の進路

就活と大学院進学を同時並行で進めている。まだまだ不確定なことが多い。

教員紹介

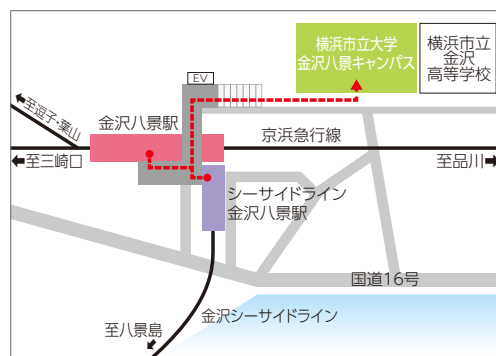
Introduction of teachers

	阿内 春生 アウチ ハルオ 准教授 教育制度論 <i>Haruo Auchi</i>		浮田 徹嗣 ウキタ テツジ 准教授 臨床心理学 <i>Tetsuji Ukita</i>		後藤 寛 ゴトウ ユタカ 准教授 都市解析 <i>Yutaka Goto</i>
	青 正澄 アオ マサズミ 教授 地球環境政策論 <i>Masazumi Ao</i>		大島 誠 オオシマ マコト 准教授 都市財政論 <i>Makoto Oshima</i>		齊藤 広子 サイトウ ヒロコ 教授 不動産マネジメント論 <i>Hiroko Saito</i>
	有井 巴 アリイ トモエ 講師 言語学 <i>Tomoe Arai</i>		乙坂 智子 オトサカ トモコ 教授 中国前近代史 <i>Tomoko Otosaka</i>		佐藤 響子 サトウ キョウコ 教授 コミュニケーション論 <i>Kyoko Satoh</i>
	有馬 貴之 アリマ タカユキ 准教授 観光政策論 <i>Takayuki Arima</i>		小野寺 淳 オノデラ ジュン 教授 アジア地域論 <i>Jun Onodera</i>		塩尻 智之 シオジリ トモユキ 准教授 身体運動科学 <i>Tomoyuki Shiojiri</i>
	有馬 斉 アリマ ヒトシ 准教授 倫理学 <i>Hitoshi Arima</i>		小幡 敏行 オハタ トシユキ 教授 中国文化論 <i>Toshiyuki Obata</i>		庄司 達也 ショウジ タツヤ 教授 近代日本文学 <i>Tatsuya Shoji</i>
	石川 永子 イシカワ エイコ 准教授 都市防災計画論 <i>Eiko Ishikawa</i>		柿崎 一郎 カキザキ イチロウ 教授 東南アジア研究 <i>Ichiro Kakizaki</i>		鈴木 伸治 スズキ ノブハル 教授 都市デザイン論 <i>Nobuharu Suzuki</i>
	岩崎 徹 イワサキ トオル 准教授 英文学 <i>Toru Iwasaki</i>		影山 摩子弥 カゲヤマ マコヤ 教授 比較社会システム論 <i>Makoya Kageyama</i>		瀬田 真 セタ マコト 准教授 国際法 <i>Makoto Seta</i>
	上村 雄彦 ウエムラ タケヒコ 教授 グローバル政治論 <i>Takehiko Uemura</i>		加藤 千博 カトウ チヒロ 教授 イギリス文化論 <i>Chihiro Kato</i>		高橋 力也 タカハシ リキヤ 准教授 国際機構論 <i>Rikiya Takabashi</i>
			滝田 祥子 タキタ サチコ 教授 多文化社会論 <i>Sachiko Takita</i>		

	陳 礼美 チェン リーメイ 教授 社会福祉論 <i>Li-Mei Chen</i>		平井 美佳 ヒライ ミカ 教授 心理学 <i>Mika Hirai</i>		山崎 和美 ヤマザキ カズミ 准教授 中東社会・文化論 <i>Kazumi Yamazaki</i>
	土屋 慶子 ツチヤ ケイコ 准教授 英語学 <i>Keiko Tsuchiya</i>		平松 尚子 ヒラマツ ナオコ 准教授 フランス文化論 <i>Naoko Hiramatsu</i>		山田 剛史 ヤマダ ツヨシ 教授 教育心理学 <i>Tsuyoshi Yamada</i>
	角田 隆一 ツノダ リュウイチ 准教授 現代社会論 <i>Ryuichi Tsunoda</i>		松本 郁代 マツモト イクヨ 教授 日本文化史 <i>Ikuyo Matsumoto</i>		山根 徹也 ヤマネ テツヤ 教授 西洋史 <i>Tetsuya Yamane</i>
	坪谷 美欧子 ツボヤ ミオコ 准教授 エスニシテイ論 <i>Mioko Tsuboya</i>		三上 真司 ミカミ シンジ 教授 哲学 <i>Shinji Mikami</i>		吉田 栄一 ヨシダ エイチ 教授 国際協力論 <i>Eiichi Yoshida</i>
	中谷 崇 ナカタニ タカシ 准教授 アメリカ文学 <i>Takashi Nakatani</i>		三輪 律江 ミワ ノリエ 教授 参加・協働論 <i>Norie Miwa</i>		渡會 知子 ワタライ トモコ 准教授 社会学 <i>Tomoko Watarai</i>
	中西 正彦 ナカニシ マサヒコ 教授 都市計画論 <i>Masabiko Nakanishi</i>		本宮 一男 モトミヤ カズオ 教授 日本近現代史 <i>Kazuo Motomiya</i>		和仁 道郎 ワニ ミチロウ 准教授 国際経済社会論 <i>Michiro Wani</i>



横浜市立大学へのアクセス



- 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
- シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

www.yokohama-cu.ac.jp/admissions/

横浜市立大学 国際教養学部

[お問い合わせ] アドミッションズセンター

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2 TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057

